

報告事項①

平成 29 年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

1. 総務部

(1) 行事

① 通常社員総会の開催

- ・ 日時：平成 29 年 6 月 16 日
- ・ 場所：学術総合センター内 一橋大学一橋講堂

② 理事会の開催

- ・ 平成 29 年 5 月 16 日、8 月 22 日、11 月 22 日、平成 30 年 3 月 15 日
- ・ 電磁的記録による理事会審議：なし

③ 執行部会の運営事務

- ・ 平成 29 年 4 月 26 日、6 月 9 日、8 月 7 日、11 月 2 日、平成 30 年 2 月 22 日

④ 役員選挙の運営事務

- ・ 役員候補者推薦委員会：
- ・ 選挙管理委員会：（第 1 回）平成 29 年 12 月 25 日、（第 2 回）平成 30 年 3 月 9 日
- ・ 選挙公告：平成 30 年 1 月 29 日、投票締め切り：3 月 1 日、結果確認：3 月 9 日

⑤ 若手対策事業の実施：各支部への予算配分及び報告受領と理事会報告

(2) 庶務

- ・ 社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・ 規則及び細則の改訂（平成 29 年 5 月 16 日理事会（国内旅費細則及び海外旅費細則）、平成 29 年 8 月 22 日理事会（職員就業細則、特別研究員細則、編集出版部運営細則、会計細則及び研究委員会助成細則）、平成 29 年 11 月 22 日理事会（役員選挙細則）、平成 30 年 3 月 15 日理事会（出版細則）
- ・ 公的試験研究費等の不正使用防止に係る基本方針、計画及び行動規範の制定
- ・ 理事の年齢制限に関する規定の検討

(3) 財務

- ・ 予算執行状況の確認
- ・ 決算書及び予算書の作成
- ・ 監査立ち会い：平成 29 年 5 月 11 日

(4) 広報

- ・ 学会ホームページ及び Facebook ページ内容の更新及び内容の検討
- ・ 会員管理システムの維持と情報発信の促進
- ・ 解説委員会の運営

(5) 部会

- ・ メール審議（随時）

2. 事業計画部

(1) 平成 29 年度総会及びシンポジウムの開催

- ・日 程：平成 29 年 6 月 16 日
- ・会 場：一橋大学一橋講堂
- ・テーマ：地すべり変動に影響を及ぼす地下水
- ・意見交換会：一橋大学一橋講堂
- ・参加人数：194 名

(2) 第 56 回研究発表会及び現地見学会の開催

① 県民講演会

- ・日 程：平成 29 年 8 月 22 日
- ・会 場：ホクト文化ホール
- ・参加人数：310 名

② 特別講演・研究発表会・意見交換会

- ・日 程：平成 29 年 8 月 23 日～8 月 24 日
- ・会 場：ホクト文化ホール
- ・参加人数：554 名（内、意見交換会参加は 399 名）

③ 現地見学会

- ・日 程：平成 29 年 8 月 25 日
- ・見学コース：Aコース：善光寺地震による地すべり災害
Bコース：長野県神城断層地震(2014) と地すべり災害
Cコース：上高地の成り立ちと観光地の土砂災害対策を学ぶ
- ・参加人数：102 名

(3) 2016 年最近の地すべり・土石流災害調査報告会の開催

- ・日 程：平成 29 年 11 月 22 日
- ・会 場：ハロー貸会議室新橋 8 階 802 の F 議室
- ・研究調査部と共催

(4) 部会の開催

- ・日 程：平成 29 年 4 月 17 日、6 月 8 日、8 月 24 日、10 月 02 日、12 月 11 日、平成 30 年 2 月 5 日
- ・平成 29 年度シンポジウムの準備と総括、平成 30 年度シンポジウムの準備
日程、会場、テーマ、話題、進行の検討
- ・第 56 回研究発表会の準備と総括、第 57 回研究発表会の準備
日程、会場、予算、運営、講演集、若手優秀発表賞、発表認定の検討

3. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

- ① 編集委員会の開催 平成 29 年 4 月～30 年 3 月まで 12 回開催(月 1 回)
- ② 日本地すべり学会誌 Vol. 54. 3～55. 2 計 6 号の発行

- ・ 特集号「地すべり研究・対策技術の海外展開」
 - ・ 特集号「積雪地域にみられる多様な地すべり現象」
 - ・ 特集号「斜面の維持管理における計測技術とデータ利活用」
 - ・ シリーズ：「空から見る日本の地すべり地形」の継続（Vol. 54.6をもって連載終了）
 - ・ シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード101」の連載継続
 - ・ シリーズ：「地すべり探訪」の継続（Vol. 55.1より連載開始）
 - ・ 賛助会員による「わが社の技術」の継続
- ③技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦
- ④投稿規定等の改訂
- ・ 投稿区分に「フォーラム」（読者の声、意見交換など）を明示
 - ・ 投稿区分に「講演採録」（シンポジウム・ハイライト）を明示
- ⑤他誌からの二重投稿の指摘に対する対応（論文撤回）

(2) 出版委員会

①委員会の開催

- ・ 第1回：平成29年6月29日

- ②販売図書管理について本年度計画作成
- ③普及版（簡易印刷）「すべり面」の販売開始
- ④「有限要素法による地すべり解析」（絶版）のコピーサービス体制の整備
- ⑤学会出版物の管理について検討
- ⑥出版細則等の改訂について検討
- ⑦編集出版部運営細則の改訂
- ⑧出版物発行申請書受付 1件

4. 研究調査部

(1) 研究助成

平成29年度の助成対象は継続1件（A）、新規1件（B）である。

A 黒部峡谷の地形形成史と斜面防災への適用

代表 柏木健司・・・2年目

B 地すべりの全域運動モニタリングで、その運動に寄与する作用を究明する

代表 渡邊達也

2件共に平成30年度まで継続するため、平成30年度の新規案件の募集は行わないこととした。

(2) 地すべり・土石流災害調査報告会

平成29年度に学会員が実施した緊急災害調査等の内容について地すべり・土石流災害調査報告会を開催した。日程等は以下の通りである。

- ・ 日時：平成29年11月22日（水）15時00分～17時00分
- ・ 場所：ハロー貸会議室新橋 8階802のF会議室
- ・ 参加人数：63名
- ・ 報告内容：

開会あいさつ（笹原克夫）

平成29年7月九州北部豪雨による福岡県・大分県の斜面災害の概要（落合博貴）

大分県日田市小野地区の大規模崩壊について (後藤聡)

福岡県朝倉市乙石川上流の大規模崩壊について (福岡浩)

平成 29 年 5 月長野県飯山市井手川流域で発生した大規模崩壊の実態と発生誘因

(平松晋也)

総合討論

(3) 研究小委員会の活動

平成 29 年度は 2 つの研究小委員会が、以下の様な活動を実施した。

① 斜面防災技術国際化小委員会

斜面防災事業の国際化に対応するため研究調査部の活動の一環として「斜面防災技術国際化小委員会」を平成 27 年度に設置し、3 年間の予定で活動を開始した。日本国内の地すべり対策工の設計の技術基準等のとりまとめ及び問題点の抽出と、海外の基準の整理を行っている。

各委員の作業成果とりまとめのために、8 月 24 日、11 月 22 日、3 月 15 日の 3 回の委員会を開催すると共に、各基準の策定の背景を調べるために、有識者のヒヤリングを行った。

本小委員会は今年度で終了するが、平成 30 年度からは理事会承認の「斜面防災技術の国際化検討委員会」として活動する予定である。

② 斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究小委員会

平成 29 年度から 5 年間の予定で活動を開始した。今年度は委員の公募を行った。

また研究小委員会の活動を活性化させるため、平成 12 年 12 月 28-29 日に国土防災技術(株)福島支店試験研究所において、5 名の参加者の元にキックオフミーティングを実施した。

(4) 研究調査部会

① 部会を以下の通り開催した。

- ・日時：平成 29 年 8 月 22 日 12 時 30 分～14 時 00 分
- ・場所：ホクト文化ホール第 2 会議室（長野市若里 1-1-3）

② メール審議を以下の様に開催した。

- ・平成 29 年 4 月 10 日 平成 29 年度研究調査部研究助成公募の審査
- ・平成 29 年 8 月 30 日 新たな任期の研究調査部員としての参加の可否

5. 国際部

(1) 平成 29 年度第 1 回会合

(平成 29 年 8 月 24 日、長野市ホクト文化ホール)

(2) ICL への参画と各種協力

- ① 斜面防災世界フォーラム (2020) :WLF5 準備会議 平成 29 年 7 月 26 日
- ② 同上 セッション案検討作業 WLF5 小委員会へ平成 29 年 10 月 30 日提出
- ③ 同上 準備会議 平成 30 年 2 月 27 日
- ④ IPL 関連業務 (ICL 総会出席等) への適宜対応
- ⑤ 学術雑誌 Landslides の編集作業協力
- ⑥ その他の協力

(3) その他の継続審議課題の検討

- ・新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
- ・SATREPS に関連したシンポジウムの企画
- ・日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝の可能性

- ・研究調査部会の「技術指針の国際対応」委員会との連携

6. 表彰委員会

- (1) 学会賞（論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞）の審査
表彰委員会にて審議
論文賞：該当無し、技術報告賞：山邊 康晴、査読者賞：守随 治雄、
研究奨励賞：該当なし、谷口賞：該当なし、国際賞：該当なし
- (2) 理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：平成 29 年 5 月 16 日
- (3) 第 56 回日本地すべり学会研究発表会の表彰式で表彰状授与：平成 29 年 8 月 23 日
- (4) 平成 30 年度の候補募集
 - ・会員向けメール、学会誌（Vol. 55(1)）、及び学会ホームページで推薦公募
締め切り：平成 30 年 3 月 1 日

7. 会員数対策 WG

- (1) 若手対策 WG
若手対策事業の実施（各支部主催）
 - ・東北支部
実施事業：「斜面変動研究の次世代コロキウム」
日時：平成 29 年 6 月 17 日～平成 30 年 1 月 20 日（計 5 回）
参加者数：若手のべ 58 名、ベテランのべ 34 名
 - ・関東支部
実施事業：「基礎技術現地見学会・講習会」
日時：平成 29 年 9 月 22 日、11 月 8 日
参加者数：若手のべ 28 名、ベテランのべ 23 名
 - ・中部支部
実施事業：地すべり地ウォーキング in 地附山
日時：平成 29 年 11 月 17 日
参加者数：44 名
- (2) シニア対策 WG
 - ・平成 29 年 5 月 2 日、7 月 28 日、8 月 24 日：運営会
 - ・平成 29 年 5 月 22～27 日：ベトナム地すべり巡検ツアー（参加者 21 名）
 - ・平成 29 年 6 月 24 日：春期談話会（講師：上野将司氏、永井修氏、上野雄一氏、山崎孝成氏、参加者 23 名）
 - ・平成 29 年 9 月 22 日：由比地区事前調査
 - ・平成 29 年 11 月 11 日：由比地区巡検（参加者 15 名）

8. ICL 小委員会

- (1) 第 1 回小委員会 平成 29 年 7 月 26 日 国土防災技術本社会議室 参加者 5 名
 - ・WLF5 実行委員会の設立の経緯と準備状況
 - ・WLF5 へ向けた今後の活動
- (2) 拡大 ICL 小委員会 平成 29 年 8 月 24 日 長野市ホクト文化ホール
 - ・WLF5 での CD セッションの提案について

(3) 第2回小委員会 平成29年10月6日 学会事務局 参加者7名

- ・学会として提案するCDセッションの内容について

(4) 第3回小委員会 平成30年2月27日 斜面防災対策技術協会会議室 参加者10名

- ・平成30年度のICL小委員会の活動予定
- ・CDセッション検討の進捗状況
- ・CDセッションへの関連団体への参加呼びかけについて

9. 解説委員会準備会

災害発生時の緊急マスコミ対応や一般市民からの問合せなど、以下の案件に対応した。

案件	日時	依頼元	質問内容	主 対応者
大分での 地割れ	平成29年 5月22日	NHK 大分放送局	地割れの原因、地震との関係など	福岡浩
	平成29年 5月23日	TBS Nスタ	地すべりの基本を教えて欲しい。 ・そもそも地すべりとは何か？ ・どのようなメカニズムで起きるのか？ ・起きやすい場所の特徴は？ など	榎田 充哉
	平成29年 5月23日	日テレ	・熊本地震との関連は？ ・今回の地割れの特徴は？ ・地殻変動との関係は？	佐藤剛
	平成29年 5月25日	大分 合同新聞	地割れで、幅の広がり1時間あたり 何mm以上だと危ないというような 基準があるか？	福岡浩
擁壁の 安定	平成29年 6月6日	神奈川県 横須賀市民	もたれ式擁壁の背面を切り崩す計画が 不動産業者から市に申請された。安全か？	他機関 を紹介
盛土 造成地	平成29年 6月14日	NHK 福岡放送局	大規模盛土造成地などは、地すべりが 起きやすいのか？	釜井 俊孝
地すべり 鋼管杭 設定要領	平成29年 9月8日	㈱松和技研 磐田事業所	杭谷側に期待される有効抵抗力を評価して 決定するのか？	他機関 を紹介
カリフォルニア の土石流	平成30年 1月10日	日テレ ニュースアプリ	山火事との関連は？	他機関 が対応
緑化資材	平成30年 1月15日	(一財) 日本国際 協力システム	法面保護・緑化のための資材で、 繊維を混入するメリット、 長繊維を使うメリットなど	他機関 を紹介

10. 学会特別研究

(1) 特別研究員雇用 雇用期間平成29年4月1日～平成30年3月31日

(2) 研究課題 泥岩および堆積性軟岩の飽和-不飽和領域における物質移動-応力-地盤変形機構の
原位置観測に基づく研究

(3) 研究成果 三浦半島油壺及び房総半島鋸山の地殻活動観測坑に設置された石英管伸縮計の記

録を解析し、歪みの降雨応答とその計算モデルを明らかにした。

(4) 成果発表

樋口衡平, 徳永朋祥, 加藤照之, 島田誠一, 愛知正温 (2017) 石英管伸縮計と GNSS による三浦半島南西部での地殻変形機構の調査, 日本測地学会第 128 回講演会, 瑞浪市総合文化センター

(5) 出張

平成 29 年 4 月 23 日: 帝京平成大学, 研究打ち合わせ

平成 29 年 6 月 16 日: 一橋講堂, 日本地すべり学会シンポジウム出席

平成 29 年 8 月 6-9 日: 鋸山, 現地調査

平成 29 年 10 月 4-6 日: 瑞浪市, 日本測地学会発表

平成 29 年 11 月 17 日: 東大地震研, 研究打合せ

平成 29 年 11 月 22 日: 東大柏キャンパス, 研究打合せ

平成 29 年 12 月 7-8 日: 防災科研, シンポジウム出席

平成 29 年 12 月 18-21 日: 鋸山, 現地調査

平成 30 年 3 月 23 日: 東大地震研, 講演会出席

11. 北海道支部

(1) 総会、研究発表会

- ・ 日 時: 平成 29 年 4 月 28 日
- ・ 参加者: 180 名 (会員 35、一般参加 145)
- ・ 場 所: 北海道大学学術交流会館 (札幌市)
- ・ 研究発表会: 特別講演 (1 件)、研究発表 (11 件)
特別講演『熊本地震地すべりとすべり面研究』(琉球大学農学部中村真也 教授)

(2) 第 1 回運営委員会

- ・ 日 時: 平成 29 年 6 月 27 日
- ・ 参加者: 26 名
- ・ 場 所: (国法) 北海道大学農学部講義室 N11 (札幌市)
- ・ 会議内容: 平成 29 年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他

(3) 臨時運営委員会

- ・ 日 時: 平成 29 年 9 月 19 日
- ・ 参加者: 12 名
- ・ 場 所: TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前 5 階会議室 (札幌市)
- ・ 内 容: 学会活動の実施体制について、40 周年シンポジウムに向けて

(4) 第 2 回運営委員会

- ・ 日 時: 平成 30 年 1 月 19 日
- ・ 参加者: 31 名
- ・ 場 所: (国法) 北海道大学農学部講義室 S11 (札幌市)
- ・ 会議内容: 平成 29 年度事業報告・決算見込み報告、平成 30 年度 事業計画・予算(案)
本部動向、その他 (役員選挙、対外活動、学会内体制、40 周年記念シンポ)

(5) 学会連絡会 第3回定例会

- ・日 時：平成30年1月10日
- ・参加者：12名（土木学会、地盤工学会、砂防学会、農業農村工学会、日本地すべり学会の北海道支部の役員および事務局）
- ・場 所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前5階会議室（札幌市）
- ・内 容：各支部の平成29年度活動報告及び平成30年度活動概要について今後の重大災害発生時の連絡体制について

(6) 巡検部活動

現地検討会「平成28年度豪雨による地すべりおよび斜面災害～羅臼町～」

- ・日 時：平成29年6月22～23日（1泊2日）
- ・参加者：26名
- ・見学地：羅臼町「海岸町崩壊地、コア観察」「幌萌地すべり」「知床ビジターセンター」
- ・案内者：(国法)北見工業大学 地域未来デザイン工学科 伊藤陽司 准教授
(独法)北海道立総合研究機構 地質研究所 石丸聡 氏
(株)開発調査研究所 原田卓弘 氏
(株)シー・イー・サービス 高木雅弘 氏
国土防災技術北海道(株) 足立辰也 氏
- ・共 催：北海道地すべり学会、
- ・協 賛：北海道地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会北海道支部
北海道地すべり防止工事士会

(7) 広報部活動

- ・研究発表会予稿集編集（4月）、ホームページ運営、各種広報活動（通年）

(8) 技術普及部活動

技術講習会

- ・日 時：平成29年10月30日
- ・参加者：33名
- ・場 所：自治労会館中ホール（札幌市）
- ・講習内容：『地すべりとは』（株）シン技術コンサル 渡邊司 氏
『地すべり調査方法』（明治コンサルタント(株) 清水順二 氏）
『地すべり観測方法』（応用地質(株) 本間広樹 氏）
- ・特別講演：『地すべり解剖学入門』（株）ドーコン 田近淳 氏）

(9) 対外（北海道地すべり学会）協力

① 普及活動

地すべり防災授業『山地防災教育 野外巡検』（高校への出前授業）

- ・日 時：平成29年6月7日
- ・対 象：北海道岩見沢農業高校森林科学科3年生36名、教職員4名

山地防災キャンペーンでの地すべり模型展示・実演（主催：北海道水産林務部林務局治山課）

- ・日 時：平成 29 年 6 月 20～21 日
- ・対 象：一般市民
- ・場 所：北海道庁 1 階ロビー（札幌市）
- ・協 力：(株)オサシ・テクノス

留萌振興局「よりみちの駅プロジェクト」での地すべり模型を展示・実演

(主催：北海道 留萌振興局)

- ・日 時：平成 29 年 9 月 10 日
- ・対 象：一般市民
- ・場 所：北海道留萌振興局 1 階ロビー（留萌市）

ジオ・フェスティバル in Sapporo 2017 での地すべり模型を展示・実演

(主催：ジオ・フェスティバル実行委員会)

- ・日 時：平成 29 年 10 月 7 日
- ・対 象：一般市民
- ・場 所：札幌市青少年科学館（札幌市）

根室振興局「森林学習」「植樹祭」での地すべり模型を展示・実演

(主催：北海道 根室振興局)

- ・日 時：平成 29 年 10 月 16～17 日
- ・対 象：中標津町立計根別学園（小学 3、4 年生）、羅臼町立春松幼稚園
- ・場 所：中標津町立計根別学園、羅臼町立春松幼稚園

普及活動 案内者：(株)ズコーシャ 久保直樹氏、北海道土木設計(株) 中鶴真也氏、(株)ノース技研 沼田寛氏、日本工営(株) 阿部大志氏、基礎地盤コンサルタンツ(株) 向久保晶氏、大地コンサルタント(株) 寺井康文氏、国土防災技術北海道(株) 足立辰也 氏、李学強氏、金井茂氏、明治コンサルタント(株) 坪山厚実氏、溝上雅宏氏、天坂夏滋氏、大橋泰知氏、和光技研(株) 宿田浩司氏、(株)シビテック 柴田純氏、(株)地圏総合コンサルタント 銭谷竜一氏（順不同）

②研究委員会

- ・日 時：平成 30 年 2 月 2 日
- ・参加者：21 名
- ・場 所：道総研プラザ セミナー室（札幌市）
- ・内 容：『2016 年に発生した地すべり・崩壊・土石流災害報告会』
「最近明らかにされた日本アルプスの高山帯の大規模崩壊と岩盤重力変形」（専修大学 荻谷愛彦 教授）

2016 年豪雨災害の追加調査実施

- ・日 時：平成 29 年 5 月 28 日
(公社)地盤工学会北海道支部と合同

③技術委員会

第 1 回技術委員会

- ・日 時：平成 29 年 11 月 10 日
- ・参加者：16 名
- ・場 所：松崎南 1 条ビルディング 2F 会議室（札幌市）
- ・内 容：話題提供『グラウンドアンカー設計・施工における地盤の課題－極限周面摩擦抵抗値の評価について－』（(株)構研エンジニアリング 青木淳氏）

第 2 回技術委員会

- ・日 時：平成 30 年 2 月 16 日
- ・参加者：16 名
- ・場 所：松崎南 1 条ビルディング 2F 会議室（札幌市）
- ・内 容：話題提供
 - 『新潟～東北での震災復旧・地すべり対策
－北海道を離れた 10 年間の体験報告－』（ライト工業(株) 山本亮氏)
 - 『北海道開成地すべりは熱水変質帯地すべりと続成帯地すべりの特徴を併せ持つ』（札幌工科専門学校 前田寛之氏)

12. 東北支部

(1) 支部総会

- ① 日 時 平成 29 年 4 月 24 日 13:00～13:45
- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
- ③ 参加者 72 名

(2) シンポジウム

- ① 日 時 平成 29 年 4 月 24 日 14:00～17:30
- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
- ③ 参加者 130 名
- ④ テーマ 「地すべりの素因としての地形・地質-最新の知見と若手研究成果の報告-」
(CPD : 3.5 時間)

○ 基調講演 地すべりの素因としての地形・地質

千木良雅弘 氏（京都大学防災研究所教授）

○ 講 演 ～東北地方の地すべりにおける地形地質的特徴と発生機構～

- ・「キャップロック地すべり」 山本佑介 氏（(株)復建技術コンサルタント）
- ・「河川の攻撃斜面と地すべり地形」 高堂陶子 氏（奥山ボーリング（株））
- ・「数値標高モデル(DEM)による攻撃斜面の抽出・指標化の試み」
林 一成 氏（奥山ボーリング（株））

- ・総合討論：司会 長谷川陽一 氏（国土防災技術（株））、渡辺 修 氏（(同)水文企画）
久野高明 氏（基礎地盤コンサルタンツ（株））

(3) 会議等

① 役員会

- ・第 1 回役員会、兼巡検計画委員会（平成 29 年 6 月 14 日 戦災復興記念館会議室 9 名）
- ・第 2 回役員会（平成 30 年 1 月 20 日 仙台市 日本工営（株）会議室 8 名）

② 拡大幹事会

- ・第1回拡大幹事会（平成29年9月4日 仙台市 東北工大一番町ロビー 21名）
- ・第2回拡大幹事会（平成30年2月7日 仙台市 東北工大一番町ロビー 16名）

③ 拡大運営委員会（平成30年3月9日 仙台市 東北工大一番町ロビー 15名）

(4) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」（事業企画委員会）

- ① 趣 旨 若手技術者を対象とした地すべり調査における着眼点、技術レポートの書き方などの勉強会とし、技術者の交流を図りながら、最終的には学会誌への投稿を目指す。平成29年度は支部シンポジウムで研究成果を発表した。また、本部の「若手会員対策費(17万円)」を活用して事業展開した。
- ② 開催日 概ね2ヶ月毎に開催し、合計5回開催
(6月17日、7月22日、9月16日、11月18日、1月22日)
- ③ 参加者 14~20名（平均15名程度）
- ④ 会 場 仙台市 東北学院大サテライトステーションほか
- ⑤ 世話人 宮城豊彦氏（東北学院大）濱崎英作氏（(株)アドバンテクノロジー）
阿部真郎氏（奥山ボーリング（株））支部事業企画委員会
- ⑥ 外部講師 5回目は小俣新重郎氏（日本工営（株））を招いてミニシンポジウムの開催

(5) 東北支部地すべり現地検討会（巡検計画委員会）

- ① 期 日 平成29年10月19日~20日
- ② 場 所 宮城県大崎市「鳴子ダム周辺の地すべり」
- ③ テーマ 「鳴子ダム右岸（花渕山地区）における地形評価」
- ④ 参加者 44名（女性4名、男性40名）
- ⑤ 検討会 川渡温泉「玉造荘」
・鳴子ダム右岸の地すべり地に対する AHP 手法による危険度評価を行い、判定結果について討論を行った。
- ⑥ C P D 学会認定単位に加えて、建設コンサルタンツ協会認定を取得（6.75単位）

(6) 広報活動等（広報委員会）

- ① 支部だより第28号の発行（平成29年12月20日）
- ② 支部ホームページの更新、情報発信
・東北支部関連の各種事業開催案内、委員会活動報告等の掲載など

(7) 関連団体との連携・地域貢献

- ① （一社）斜面防災対策技術協会東北支部へ講師派遣（地すべり防止工事士更新講習会）
 - ・期 日 平成29年8月5日
 - ・講 師 阿部真郎氏（奥山ボーリング（株））
 - ・演 題 「地震地すべり」
- ② （一社）斜面防災対策技術協会東北支部機関誌への寄稿
 - ・寄稿者 中臺直之氏（(株)新東京ジオ・システム）
 - ・題 目 「地下水排除工施設の機能回復と長寿命化対策事例」

13. 新潟支部

(1)平成 29 年度支部総会

- ・開催日：平成 29 年 6 月 9 日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール（新潟市）

(2)第 45 回地すべりシンポジウム

- ・主 催：(公社) 日本地すべり学会新潟支部
- 共 催：(公社)地盤工学会 北陸支部
- ・後 援：新潟県、(一社)新潟県地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会新潟支部、新潟県地すべり防止工事士会
- ・開催日：平成 29 年 6 月 9 日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール（新潟市）
- ・テーマ：UAV・SfM 技術の地すべり研究への応用
- ・参加者：81 名

(3)新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版の出版

平成 29 年 6 月 9 日、2017 年版を出版（平成 28 年に発生した地すべり災害記録を追加）

(4)新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

(5)新潟県地すべり対策研究会への参加

平成 29 年 11 月 20 日、災害対策部会（糸魚川市内の災害現場視察）、支部から 4 名参加
平成 30 年 3 月 22 日、総会及び技術部会（新潟市）、支部から 3 名参加

(6)2018 年度研究発表会（新潟大会）に向けた準備

平成 29 年 8 月以降、支部幹事会を毎月 1 回開催し、準備を進めてきた

(7)会議記録

幹事会

- 第 1 回 平成 29 年 8 月 9 日開催、11 名出席
- 第 2 回 平成 29 年 9 月 8 日開催、18 名出席
- 第 3 回 平成 29 年 10 月 13 日開催、16 名出席
- 第 4 回 平成 29 年 11 月 17 日開催、14 名出席
- 第 5 回 平成 29 年 12 月 21 日開催、14 名出席
- 第 6 回 平成 30 年 1 月 18 日開催、11 名出席
- 第 7 回 平成 30 年 2 月 13 日開催、12 名出席
- 第 8 回 平成 30 年 3 月 22 日開催、13 名出席

大会実行委員会

- 第 1 回 平成 30 年 1 月 22 日開催、24 名出席

14. 関東支部

(1) 総会

平成 29 年 5 月 12 日(金)11:00～12:00

東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール (東京都)

出席者数 22 名 委任状数 104 名 計 126 名 (定足数 84 名以上)

(2) シンポジウム

平成 29 年 5 月 12 日(金)12:45～17:00

東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール (東京都)

参加者：108 名

シンポジウム「過去の災害から学ぶー突発的に発生した斜面災害の事例からー」

- ・岩盤崩壊から学ぶ～第 2 白糸トンネル岩盤崩壊を中心に～ 上野将司(応用地質(株))
- ・昭和 60 年に発生した地附山地すべりの実態と地形・地質的課題 古谷尊彦(千葉大名誉教授)
- ・蒲原沢土石流災害について～初期積雪期の土石流発生事例～ 丸井英明(新潟学名誉教授)
- ・総合討論(コーディネータ：櫻井正明)
- ・概要集発行

(3) 意見交換会

平成 29 年 5 月 12 日(金)17:30～19:30

東京大学山上会館 (東京都)

参加者：51 名

(4) 現地検討会

① 第 1 回現地検討会ー平成 28 年 9 月台風 13 号に伴う集中豪雨による土砂災害ー

平成 29 年 8 月 3 日(木)9:45～17:50

群馬県沼田市利根町柿平地区

協力：群馬県環境森林部森林保全課、利根沼田環境森林事務所、関東地方整備局利根川水系砂防事務所

参加人数：19 名

② 第 2 回現地検討会ー平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害 芹沢地区ー

平成 29 年 10 月 18 日(水)10:00～16:45

栃木県日光市芹沢地内

協力：国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所

参加人数：11 名

(5) 斜面協会との共催事業

栃木県上塩原地すべり合同見学会

平成 29 年 11 月 28 日(火)9:45～15:45

栃木県那須塩原市上塩原地内

主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部、(一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部

協力：栃木県県土整備部砂防水資源課、大田原土木事務所

参加者：28 名

(6) 若手対策費支出事業

① 若手会員等の関東支部行事への参加推進キャンペーン

- ・ 関東支部の学生会員・若手正会員への案内状の送付 3回
- ・ 現地検討会の参加費の減額(3,000円) 1名

② 地すべりの基礎を学ぶための現地見学会

平成 29 年 9 月 22 日(金)10:00～16:30

神奈川県相模原市緑区名倉地内、藤野中央公民館

- ・ 座学：「地すべりの基礎」上野将司(関東支部技術委員)
- ・ 現地見学：名倉地区の現地踏査
- ・ 座学：質疑応答、調査観測機器の説明

参加者：35名(会員10名、非会員25名)

③ 地すべりを学ぶ座談会

平成 29 年 11 月 8 日(水)14:00～17:00

TKP スター貸会議室東京駅八重洲(東京都)

- ・ 話題提供：「地すべりの調査・研究の進め方」上野将司(関東支部技術委員)
- ・ 参加者の話題提供、質疑応答、意見交換

参加者：16名(会員14名、非会員2名)

(7) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

- ・ 第1回 平成 29 年 4 月 13 日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者 14 名
- ・ 第2回 平成 29 年 12 月 4 日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者 14 名

② 幹事会

- ・ 第1回 平成 29 年 4 月 13 日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者 16 名
- ・ 第2回 平成 29 年 6 月 9 日 日本工営会議室(東京都)出席者 14 名
- ・ 第3回 平成 29 年 8 月 29 日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者 12 名
- ・ 第4回 平成 29 年 12 月 4 日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者 13 名
- ・ 第5回 平成 30 年 3 月 19 日 日本工営会議室(東京都)出席者 8 名

(8) 群馬県環境森林部と「災害時における調査の相互協力に関する協定」に基づく災害調査

平成 29 年 10 月 25 日

群馬県高崎市吉井町大字多胡 日向地区

参加者：6名

(9) 広報活動等

- ・ 関東支部 Web ページ更新

(10) 平成 32 年度研究発表会の準備

- ・ 開催時期等の検討(意見集約を含む)

15. 中部支部

(1) 運営委員会

平成 29 年 4 月 21 日

- ・場 所：TOiGO 長野市生涯学習センター(長野市)
- ・出席者：16 名

(2) 支部総会及び特別講演

平成 29 年 4 月 21 日

- ・場 所：TOiGO 長野市生涯学習センター(長野市)
- ・講演：「天竜川上流域の土砂災害対策について」
国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所長 椎葉秀作 氏
「上高地と槍穂高連峰の成り立ちについて」
信州大学人理学部理学科 地球学コース 教授 原山智 氏
- ・参加者：162 名

(3) 災害緊急調査

- ・平成 29 年 6 月 20 日
- ・平成 29 年 5 月 19 日に長野県飯山市井出川流域で発生した土砂災害に対して、砂防学会 信越支部と合同で調査団を派遣した。
- ・場 所：長野県飯山市井出川流域
- ・参加者：13 名

(4) 交流学習会(若手育成事業)

平成 29 年 10 月 29 日

- ・場 所：長野市 防災メモリアル地附山公園
- ・テ ー マ：「地すべり地ウォーキング in 地附山」
- ・屋内学習：「地附山地すべり災害 30 年前の経験」
土木・環境しなの技術支援センター 山浦直人 氏
「地すべり跡地利用の可能性～斜面を利用したスポーツ～」
長野県林務部森林政策課 毛受誠 氏
「地すべり地を走る vol. 2」
日本総合建設株式会社 加藤真彰 氏
- ・屋外学習：「地附山地すべり内のトレッキングコースを散策」
- ・参加者：44 名

(5) 中部支部シンポジウム

平成 29 年 11 月 17 日

- ・場 所：ホテル国際 21(長野市)
- ・テ ー マ：「飯山市井出川流域で発生した大規模崩壊と土石流」
～2017 年 5 月井出川で何が起こったのか！～
- ・基調講演：「近年の地すべり災害と天然ダムの形成」
前 国土交通省水管理・国土保全局砂防部長 西山幸治 氏
- ・講演：「井出川で何があったか 動画に見る被災地」
飯山市総務部危機管理防災課課長兼防災消防係長 小野澤清登 氏

「上流大規模崩壊地の状況と災害対応」

長野県 北信地域振興局林務課課長補佐兼治山林道係長 瀬畑雅臣 氏

「下流域の状況と災害対応」

長野県北信建設事務所飯山事務所長兼維持管理課長 小林敏昭 氏

・調査報告：「井出川合同調査団 上流大規模崩壊調査班報告」

国立研究開発法人 土木研究所雪崩・地すべり研究センター

上席研究員・センター所長 石田孝司 氏

「井出川合同調査団 下流土石流調査班報告」

国土防災技術株式会社 矢島光一 氏

・参加者：178名

(6) 災害時における調査の相互協力に関する協定

平成30年3月26日

「災害時における調査及び技術支援等の相互協力に関する協定」を国土交通省中部地方整備局並びに協定自治体及び協定学会と締結

・協定自治体：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、静岡市、浜松市、名古屋市

・協定学会：(公社)土木学会中部支部、(公社)地盤工学会中部支部、(公社)砂防学会東海支部
(公社)砂防学会信越支部 及び(公社)日本地すべり学会中部支部

(7) 中部支部ニュース発行

平成30年3月31日

(8) 幹事会

平成29年4月12日：長野県土木センター(出席者19名)

平成29年9月22日：長野県土木センター(出席者15名)

平成30年1月19日：長野県土木センター(出席者17名)

16. 関西支部

(1) 第1回運営委員会

①日時：平成29年4月7日(金)

②場所：京都大学防災研究所 E-417D

③出席者：16名

④議事：

報告

平成28年度第2回運営委員会議事録

平成28年度支部事業報告(案)

平成28年度行事関係会計報告(案)

会誌「らんどすらいど」No.32

協賛会員名簿

平成28年度支部決算報告(案)

その他

議 題

平成29年度事業計画（案）
平成29年度予算計画（案）
支部長等選出
その他

(2) 若手研究発表会

- ①日時：平成29年4月12日（水）15：00～18：00
- ②場所：京都大学防災研究所
- ③参加者：10名
- ④講演者とタイトル
 - ・倉岡 千郎（日本工営株式会社）
「地震地すべりの危険度に影響の大きい地盤強度特性の検討
ー長野県神城断層地震で崩壊した市場1号地すべりの数値解析ー」
「社会科学的に見た災害の原因と対策
ーフィリピン・レイテ島における災害からの復興事例ー」
 - ・美馬 健二（太田ジオリサーチ）
「アンカー工の定着地盤を確認するために用いた微動アレイ探査
及び施工済みの杭工位置を推定した地中レーダー探査」
 - ・Zhang Shuai（島根大学理工学研究科）
「Research on earthquake-triggered landslides in China and
application of artificial intelligence in rainfall-induced landslides」
 - ・小野寺 俊（復建調査設計株式会社）
「熊本地震の斜面災害について」
 - ・北村 和輝（株式会社エイト日本技術開発）
「熊本地震で発生した北外輪山における変状の特徴」
 - ・土井 一生（京都大学防災研究所）
「サイレント・ランドスライド ー移動土塊とともに30m動いた地震計の記録ー」

(3) 春のシンポジウム「迫りくる南海トラフ巨大地震と斜面災害」開催

- ①日時：平成29年4月13日（木）10：00～17：00
- ②場所：大阪建設交流館
- ③主催：（公社）日本地すべり学会関西支部
- ④後援：（公社）砂防学会・（公社）地盤工学会関西支部
（一社）建設コンサルタンツ協会近畿支部
- ⑤参加者：67名
- ⑥講演者とタイトル
 - ・南海トラフ巨大地震に備える 京都大学名誉教授 梅田 康弘
 - ・南海トラフ巨大地震による斜面崩壊について

京都大学防災研究所 千木良 雅弘

・地震時斜面変動の危険度評価に関する考察

四国山地砂防事務所 林 孝標

・現場地震観測に基づく斜面における地震動の特徴の理解

京都大学防災研究所 土井 一生

・地震地すべりシミュレーションの基礎及び応用面からの取り組みと課題

国土防災技術株式会社 榎田 充哉

・パネルディスカッション 「地震時地すべり：現状と今後」

司 会 笹原 克夫 (高知大学) パネラー 話題提供者

(4) 関西支部 総会

①日時：平成 29 年 4 月 13 日 (木) 11:40~12:00

②場所：大阪建設交流館

③議題：平成 28 年度活動報告

平成 28 年度決算報告

平成 29 年度予算・活動計画

(5) 講習会

①日時：平成 29 年 6 月 23 日 (金)

②場所：ちより街テラス 第 3 会議室

③主催：(公社) 日本地すべり学会関西支部

④後援 (公益社団法人) 砂防学会 中四国支部

(一般社団法人) 斜面防災対策技術協会 四国支部

(一般社団法人) 建設コンサルタント協会 四国支部

(公益社団法人) 地盤工学会 四国支部

⑤参加者：25 名

⑥講演者

・開会挨拶

高知大学教育研究部自然科学系 笹原克夫

・基調講演

地理情報と衛星リモートセンシング情報による防災情報の高度化について

(一財) リモート・センシング技術センター 清水孝一

・オープンデータ+QGIS の取得

・QGIS 操作演習

国土防災技術 (株) 龍見栄臣

オープンデータ+QGIS 活用の可能性

演習 I : QGIS 操作の基本

演習 II : QGIS で地形解析をしてみよう!

演習 III : オープンデータと QGIS で地図を作ろう!

・閉会挨拶

(株) 地研 中根久幸

(6) 平成 29 年度現地見学会及び現地討論会「大呂地すべりの現状と課題」

- ①日時：平成 29 年 10 月 30 日～10 月 31 日
 ②場所：鳥取県八頭郡大呂 大呂地すべり地、鳥取温泉しいたけ会館
 ③主催：(公社)日本地すべり学会関西支部
 ④後援：鳥取県、(公社)砂防学会中四国支部
 (公社)地盤工学会関西支部・中国支部
 (一社)建設コンサルタンツ協会中国支部

④参加者：34 名

⑤講演者とタイトル

・特別講演

2016 年鳥取県中部の地震による地震動と地域の地盤震動特性

鳥取大学大学院工学研究科教授 香川敬生

・話題提供

高標高部に地すべり末端部が位置する大呂地すべり

日本工営(株) 木下慎逸

大呂地すべり地の地下水の水質

高知大学名誉教授 日浦啓全

鳥取県における地すべり施設の長寿命化

鳥取県 大坪亮太

計測機器の信頼性を高める活用法

(株)オサシ・テクノス 古島広明

水抜きボーリング保孔管の室内比較実験と現場での適応性

アクアコントロール(株) 北村晴夫

・パネルディスカッション・若手技術者による発表

司会 鳥取大学名誉教授 藤村 尚 パネラー 特別講演者と話題提供者

(7) 第 2 回運営委員会

- ①日時：平成 28 年 11 月 2 日(金)
 ②場所：京都大学防災研究所本館 セミナー室 (S-207D)
 ③出席者：8 名 委任状 5 名
 ④議事

報 告

平成 29 年度第 1 回運営委員会議事録

平成 29 年度支部事業報告

シンポジウム

講習会

現地討論会

行事関係会計

平成 29 年度今後の事業予定

会誌「らんどすらいど」No. 33

(8) 「らんどすらいど 33」会誌の発行・発送

①日時：平成30年1月29日

②執筆者とタイトル

- ・表層崩壊の原因と仮説したソイルパイプ内の過剰間隙水圧発生を検証する模型実験
美馬健二・太田英将（有限会社太田ジオリサーチ）
- ・平成28年熊本地震による斜面災害
小野寺俊（復建調査設計株式会社）
- ・小中学生を対象とした防災学習支援活動の紹介
嘉茂美佐子（一般社団法人四国地質調査業協会高知支部）
- ・平成28年度支部行事報告
総会・春のシンポジウム・若手研究発表会
(公社) 日本地すべり学会関西支部事務局
(公社) 日本地すべり学会中部支部・関西支部 現地見学会・現地検討会報告
高島誠（中部支部企画担当幹事）
講習会
(公社) 日本地すべり学会関西支部事務局
- ・平成28年度決算
- ・平成29年度予算
- ・編集後記
松浦純生（京都大学防災研究所）

17. 九州支部

(1) 支部幹事会

- ・開催日：平成29年6月1日 10:00～10:50
- ・会場：佐世保市（アルカス SASEBO）
- ・参加者：20名，委任状26名

(2) 支部総会

- ・開催日：平成29年6月1日 11:00～11:30
- ・会場：佐世保市（アルカス SASEBO）
- ・参加者：40名

(3) 支部学術講演会

- ・開催日：平成29年6月1日 13:00～17:30
- ・会場：長崎県佐世保市（アルカス SASEBO）
- ・主催：(公社) 日本地すべり学会九州支部
- ・共催：(一社) 斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会
- ・後援：国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所、長崎県、(公社) 地盤工学会九州支部・長崎地盤研究会、(一社) 長崎県地質調査業協会
- ・参加者：172名
- ・講演：蔣 宇静（長崎大学大学院工学研究科）、ほか9件
基調講演

「H28年熊本地震による大規模斜面崩壊の調査分析」

蔣 宇静（長崎大学大学院工学研究科）

「立岩地区地すべり対策工事（排水トンネルによる地すべり抑制工）」

福島 武志（長崎県県北振興局建設部砂防防災課）

「平山地区地すべり（長崎県佐世保市吉井町）の地すべり防止対策」

保利 泰史（長崎県県北振興局農林部森林土木課）

一般講演

「離島で発生した地すべりに対する応急横ボーリング事例」

原田 康弘、緒方 康浩（㈱日本地下技術）

「活発に活動する地すべりの観測事例の紹介について」

浜端 研吾、木村 友則（㈱カミナガ）

「蛇紋岩地帯における地すべり動態観測の事例紹介」

鳥羽 省吾、衛藤 政浩（㈱アサヒコンサル）

「地滑り基礎調査を実施して」

木村 健志（日本地研㈱大分支店）

「地すべりの発生予測とリスク提示」

永井 宏樹（大栄開発㈱）

「凍結・凍上に起因する斜面大崩壊と舗装表層滑動～2016年4月16日熊本地震において～」

後藤 恵之輔（長崎大学名誉教授）、後藤 健介（大阪教育大学）

新技術セッション

有限会社空撮ジャパン

大栄開発株式会社

株式会社オサシ・テクノス九州支店

サンスイ・ナビコ株式会社

総合討論～よりよい防災・減災に向けて～

豪雨・地震時の警戒避難、事前対策、施設維持管理・長寿命化、防災教育ほか

座長：中村 真也（琉球大学農学部）

(4) 支部現地見学会

- ・開催日：平成29年6月2日 8:30～14:00
- ・場 所：長崎県佐世保市、松浦市
- ・参加者：123名

(5) 緊急現地調査

2017年九州北部土砂災害調査

- ・実施日：平成29年8月9日～10日
- ・箇 所：朝倉市、東峰村、日田市
- ・参加者：学会員（支部所属）、学会員（関東支部長） 3名

(6) 共催事業

平成29年度 現場見学会（第9回）

- ・共 催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会
- ・開催日：平成29年10月13日 8:10～18:30（博多駅集合解散）

- ・場 所：熊本県阿蘇市、南阿蘇村
- ・参加者：20名

事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、附属明細書は作成しない。